

放課後等ディサービス評価表(事業者向け)

6名回収

令和5年度の集計結果を下記の通り報告させていただきます。

■ 環境・体制整備

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	0
② 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	3	0
③ 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	1	0

《意見》

- ① 曜日によって利用人数の差があるが、使用部屋の調整を行い運営している。
- ③ 一部バリアフリー化している。

■ 業務改善

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	1	0
⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	0
⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	0
⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	0	1	0
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	0

《意見》

- ⑦ 法人ホームページで年度の変わり目に更新した物を公開している。

■ 適切な支援の提供

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	0
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	3	0
⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	0
⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	0
⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	0
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	0
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	1	0
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	0
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	0

《意見》

- ⑩ 定期的に検査をするという機会はない。
- ⑫ 様々な活動内容が計画され、児童も楽しめている。
- ⑫ 児童が活動した様子に応じプログラムの工夫をしている。
- ⑫ 管理職職員に活動計画の確認をしてもらい、意見を仰いでいる。
- ⑯ 活動で児童に対する支援の仕方、困った際は特に振り返りを重点している。

■ 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	1
㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	2	0	1

②② 医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	非該当			
②③ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	2
②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0	1
②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	0	0	4
②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	0	6
②⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	0	2
②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	0
②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	0	1

《意見》

- ②① 送迎サービスの有無などを年度初めに学校側と確認している。
- ②② 現状では利用無し。
- ②② 連絡体制より場所の大きさと職員体制（人数）が整っていない。
- ②④ 相談支援事業所ともライフステージの変更時期には、連携を密にはかり情報提供等を行っている。
- ②⑥ 他施設の方と関わる機会はない。
- ②⑨ 幼児期に支援（ペアプロ支援）している方は多数存在する。

■ 保護者への説明責任

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
③⑩ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	0
③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0
③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	0	1
③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0
③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	2	2	2
③⑮ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	1

③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	0
③⑦ 事業所の行事に地域の住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	1	1	2	2

《意見》

③⑥ 一人になれる空間で個別対応を実施する等の配慮をしている。

■ 非常時等の対応

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	1
③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	2	1
④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	1
④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	1
④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	1	0	5
④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	1

《意見》

③⑨ 絵本を通して子ども達に避難の大切さやその手順等を伝えている。避難経路の確認は実施済。

④⑪ 身体拘束は行っていない。

④⑫ 今年度、該当児童の存在なし。児童の基礎データ（健康状態等記入表）は年度更新している。

まとめ

児童の活動プログラムを複数職員で協議検討する機会が限られた。活動後のフィードバックで次回への改善点などを確認できたが、さらなる活動内容の充実に向けては、活動プログラムの立案をチームでおこなっていく。

虐待防止・権利擁護、身体拘束に関する研修は個々で受講しているが、職員間で共有する機会が設けられなかった。研修報告書の確認のみならず「浜松市障がい児放課後支援連絡協議会」等の研修会へ積極的に参加し、常に対人支援における心構えを意識していく。